

宛先

# ニューズレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

No. 83

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/lora/index.html>

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/ialt/index.html>

平成28(2016)年 1月08日

## 環境専門部会

### 世界の低平地～タイの低平地における水問題～講演会の開催

世界の低平地における環境問題をテーマとした講演会を平成27年10月21日(水)に開催しました。本講演は、さくらサイエンスプランの関連イベントとして開催されたもので、カセサート大学工学部環境工学科の Winai Liengcharernsit 先生(タイ)をお招きし、タイの低平地における水問題と必要な対策について紹介いただきました。

インド、インドネシア、タイ、ベトナムと佐賀大学から21名が出席しました。質疑では参加者により各国の低平地における水問題について活発な議論・意見交換がなされました。



## 都市空間専門部会

### 講演会「首都ブラジリア」の開催

10月21日(水)、佐賀大学にて元佐賀大学教授中岡義介先生らをお迎えし、長年の研究成果である近代の世界遺産都市「首都ブラジリア」について講演会を開催しました。

当時の社会背景や土地の条件を含むルシオ・コスタの思考過程、今日の豊かな生活空間実態など、これまで失敗とされてきた評価を覆し、ブラジリア独自の都市づくりの理念と実践等の説明がありました。学生や建築士等104名の参加が



あり、質疑では近代の都市づくりの意味、現代の都市づくりの課題などと議論が展開し、大変に有意義なものとなりました。この講演の内容は、中岡義介他「首都ブラジリア モデルニズモ都市の誕生」鹿島出版会(2015)、に詳述されています。

## 環境・基盤整備専門部会

### 現地見学会開催報告

11月19日(木)に佐賀の水環境についての現地見学会を開催しました。主催は日本水環境学会九州沖縄支部で、共催として基盤整備専門部会と環境専門部会がサポートしました。

前日までの雨模様がうそのようになり当日は絶好の見学会日和となりました。参加者は13名。ご高齢の方から佐賀大学の学生まで幅広い

年代層で構成され、かつ女性も3名参加してくださいました。ノリ漁場見学およびノリ製造所を見学し、ノリが食卓に届くまでの一連の流れを知ることができました。参加者からは有意義な見学会であったとのご意見をいただき、たいへん満足な企画となりました。

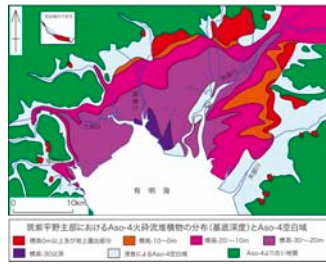
最後になりましたが、見学先での説明等にご協力いただきましたさが水ものがたり館、佐賀市下水浄化センター、佐賀市漁協および佐野常民記念館の関係者の方々にお礼申し上げます。



## 低平地研究に関する豆知識 -その20- 「阿蘇-4」

阿蘇-4は阿蘇カルデラ形成期に生じた4大火砕流のうち、4回目の巨大火砕流の堆積物です。カルデラ周辺には強溶結部がありますが佐賀平野では非溶結の火砕流堆積物です。阿蘇-4の新鮮なものは軽石混じり暗灰色ガラス質火山灰であり、風化した場合には白色凝灰質粘土やオレンジ色の“おがくず状ローム”になります。白色凝灰質粘土は八女粘土、オレンジ色の“おがくず状ローム”は鳥栖ロームと呼ばれ、鳥栖ロームが常に上位にあります。ベースサージ層を間に挟む場合、2つは別々(2回)の火砕流の堆積物ですが、筑紫野市の露頭で両者を貫く脱ガスパイプが発見されたため、それらの時間差はほとんどないといえます。

佐賀低平地における地下調査のためのボーリングでは、阿蘇-4は約9万年前を示すほか、支持層到達の目安となる重要な鍵層とされています。ただし、オリジナルの阿蘇-4のほかに二次堆積としての阿蘇-4もあります。これはラハール(泥流)堆積物であり、オリジナルの阿蘇-4に比べて軟らかいほか、碎屑物(砂礫)を大量に混入し、軽石は細礫状で丸みを帯び、成層しているため、オリジナルな阿蘇-4との区別は容易です。二次堆積の阿蘇-4は地層区分としては、阿蘇-4ではなく三田川層になります。(佐賀大学 低平地沿岸海域研究センター 特命研究員 下山正一博士)



### 環境・基盤整備専門部会 講演会の開催

12月18日(金)に佐賀大学において環境および基盤整備専門部会の合同による講演会を開催しました。茨城大学の村上准教授(左)と江頭氏(右)河川砂防課水問題対策室室長の江頭聖司氏を講師としてお招きし、「低平地における気候変動と地震や地盤沈下に起因する複合災害」、「佐賀市における浸水対策と今後の課題への取り組み」と題してそれぞれご講演いただきました。村上准教授の講演では平成27年9月の関東・東北豪雨による堤防被害と鬼怒川沿岸の地盤沈下の影響や、低平地における気候変動、地盤沈下、地震の複合災害について最新の研究成果が紹介されました。江頭氏の講演では、行政と市民との浸水対策に対するギャップや、九州初の国交省認定に認定された排水対策計画について紹介されました。



村上准教授(左)と江頭氏(右)

## 会員 特別会員 動向 株式会社日水コン

このたび弊社は、国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業(B-DASプロジェクト)において、株式会社東芝、地方共同法人日本下水道事業団、佐賀市上下水道局、株式会社ユウグレナ、日環特殊株式会社の6者からなる共同研究体で「バイオガス中のCO<sub>2</sub>分離・回収と微細藻類培養への利用技術実証事業」を提案し実施技術として採択されました。



現在、佐賀市下水浄化センターをフィールドに実証実験を行っているところです。今後ともこれまでに培ったノウハウ等を活かし、「官」と「民」をつなぐ水の総合コンサルタントとして、革新的技術の発展や普及に貢献してまいります。

### LTI ジャーナル Vol. 17, No. 3 の発行

英文機関紙「Lowland Technology International」Vol. 17, No. 3が発行され、7編の論文が掲載されました。

Title	Authors
The influence of soil disturbance on material properties and micro-structure of cement-treated	M. Makino, T. Takeyama and M. Kitazume
Compressive strengths of water treatment sludge-fly ash geopolymer at various compression	C. Suksiripattanapong, T. Srijumpa, S. Horpibulsuk, P. Sukmak, A. Arulrajah and Y.J. Du
3D FEM investigation on bending failure mechanism of column inclusion under embankment load	S. Shrestha, J.-C. Chai, D.T. Bergado, T. Hino and Y. Kamo
Using the memetic algorithm to determine the depths of sedimentary basins by 2-D gravity	L.P. Toan and D.V. Liet
A numerical model for transient temperature distribution in an aquifer thermal energy storage	S. Ganguly and M.S.M. Kumar
Effect of trenches on the habitat of aquatic organisms in a salt marsh in Saga, Japan	Y. Nagahama, K. Nishimura and H. Yamanishi
Improvement strategy of open space at the center of a traditional lowland town with narrow paths	N. Mishima, Y. Taguchi, Y. Okazaki, H. Wakuya, K. Kitagawa, Y. Hayashida, Y.S. Oh and S.G. Park

### 編集後記

文化の秋に相応しく、10月からは多くの部会活動が行われました。2月にも部会活動が予定されていますので、皆様のご参加をお待ちしています。

編集：三島(佐大:sk9822@cc.saga-u.ac.jp) 江頭、日野